

## 日本発ウィーン便り : Bahnreise

「鉄道で国境を越える」こと。日本にいと不可能なことの一つです。

日本は、「海に囲まれている」と思ふか、「海で世界とつながっている」と思ふかどうかは人それぞれですが（私は後者）、飛行機か船じゃないと外国には行けないのが島国日本の特徴。これは動かしがたい事実。まあ日本のことはさておき、今回の鉄道の旅はオーストリアのウィーンからドイツのニュルンベルクまでの国境を越える、約5時間の旅です。

これが今回の旅、ウィーンを出て、リンツを経てパッサウでドイツとの国境を越え、レーゲンスブルク→ニュルンベルクに向かうコースです。



列車に乗る前、チケットの予約の時点で面白いことがありました。今回 DB（ドイツ鉄道）の新幹線、ICE（インターシティー・エクスプレス）に乗る予定にしていたので、まずはDBのホームページからチケット予約を入れました。丁度キャンペーンをやっていて、うろ覚えですが、定価 100 ユーロ位の運賃が 79 ユーロで販売されていて「お！安い」と思って予約しました。

その後、しばらくしてから、ふと「出発地はオーストリアだよな？」と思いついて、念のため ÖBB（オーストリア鉄道）のホームページでまったく同じ日に同じ列車を使用する条件で調べてみると…。なんと、こちらは 34 ユーロという冗談みたいな値段のキャンペーン中！

DBのチケットのキャンセル料 17.5 ユーロ<sup>1</sup>を払っても、座席指定料金 3 ユーロを追加しても、まだ約 25 ユーロもお得、ということで、「そんなことある？」と半信半疑ながら、もちろん迷わず予約し直しました。（そして、こういう「得した」話を人にしたくなる私は関西人です。☺）

この列車、オーストリアのウィーン始発で、ニュルンベルク到着後には、さらに西に向かい、フランクフルトからは北上し、ボン（旧西ドイツの首都ですね）→ケルン→ドルトムント→ブレーメンを通過して終点は北ドイツの港町ハンブルク。（ウィーン発が 10:30 頃でハンブルク到着が 24:00 前後だったように思います。）始発駅から終点までずーっと乗っている人はさすがに少数かと思いますが、まさに国際長距離列車ですね。



<sup>1</sup> 2016年2月現在のキャンセル料金。2016年12月からは19ユーロになっているようです。



ICEは1. Klasse (1等車)と2. Klasse (2等車)に分かれています。



長距離路線なので、Bordrestaurant (食堂車)もありました。

2等車の車内はこんな感じです。2列・2列。通常の座席に加え、ところどころにテーブルをはさむような形での4人席とか、コンパートメントがあります。(座席の向きは変更できません。)



↑座席上にはこんな感じで座席番号と、その座席に予約の入っている区間が表示されます。日本の新幹線のように「自由席」の車両というのは存在しないので、座席を指定しない場合は、ここに何も表示されていない席か、自分の目的地までの区間が含まれていない座席であれば座ってOKです。(例えば上の写真で、座席番号46であればウィーンからRegensburgまでは開いているので座ってOK。48ならニュルンベルクより後はOKの意味ですね。)



荷物は座席上の棚に乗せます。いつも「大丈夫かなあ…。落ちてきたら怖いなあ。」と思ってしまいますが、すごく重そうなスーツケースとか、みんなどんどん載せていきます。まあ、棚の奥まできっちり収納すれば、ちょっとやさっと揺れた位では落ちてこないようです。その他にも列車によっては入り口近くとか車両の真ん中あたりに荷物用の棚がある場合もあるので、そこに収納します。

発車時間になれば、扉が閉まり、列車は動き出すのですが、このときアナウンスが入ったり、音とかサイレンが鳴ったりするわけではないので、うっかり乗り遅れないようにご注意ください！

動きだしてしばらくすると車掌さんが検札に回ってきますので、切符を見せて刻印をもらいます。検札が終われば、あとは、快適な列車の旅を！なんですが、気になるのは「国境」。どうなるの？

出発地のオーストリアも到着地のドイツも Shengen (シェンゲン) 圏なので、国境を越える際のパスポートコントロールも出国／入国審査もありません。(もちろん、自分の身分を証明するものとして、旅行中はパスポートを必ず携帯してくださいね。)

「国境を越えた」と実感するとすれば、

1. 国境の街パッサウ駅で列車の乗務員の入れ替えがある点。ウィーン→パッサウはÖBB (オーストリア鉄道) の乗務員、パッサウより後はDB (ドイツ鉄道) の乗務員で運行。なので、乗務員交代後に再度切符の検札があります。切符を捨てたり失くしたりしないようご注意ください！
2. もし国際携帯電話を持っていたら、パッサウの駅で、ローミング先がオーストリアからドイツに替わる点

くらいでしょうか？

ちなみに ICE 車内の無料 WiFi 使用は、これまで 1. Klasse のみでしたが、2017 年 1 月からは 2. Klasse でもサービスの提供が順次開始されています。

せっかくの長旅なので、食堂車も見に行ってきました。メニューを見ると、軽食が中心ですが、ドイツ名物料理までいろいろありましたよ。バーコーナーでは軽食・スナック・飲み物のテイクアウトもできます。



長い列車の旅、窓の外の風景を眺めるもよし、本を読むもよし、車内探検の旅に出かけるのもよし、お腹が空けば食堂車に向かい…。と、なんやかんやする間に、長いと思っていた列車の旅も意外と快適に過ごせるものですよ。

たまには列車の旅もいかがですか？ ☺